

茶道を学んだ3日間

今週の水曜日から金曜日までの3日間、2年生は総合学習として茶道を学びました。表千家の先生である厚美善康先生と厚美晴美先生においでいただき、茶道の歴史や心構え、様々な作法を学ぶことができました。初めての経験で戸惑うこともありましたが、全員が茶道について学ぶことができました。

初日は掛け軸の意味や基本動作、お茶の味わい方などを学びました。生徒にとっては、長時間の正座が一番大変だったかもしれません。膝行や膝を繰るなどの特別な動作もできるようになりました。初日は「常にアンテナを張る」ということの大切さを学びました。

二日目は茶道の歴史を学びました。千利休がなぜ有名になったのか、一休宗純がお茶に禅のどのような意味を込めたのかなどを知ることができました。二日目は、「頭を使って工夫することの大切さ」を学びました。

三日目は二日目までの内容を復習し、楽しくお茶会をすることができました。どう動けばよいか、何を見ればよいかなどを確認することができました。

茶道は「道」という字がついている通り、精神的なものがとても大切になっています。禅の精神を理解するのは難しいですが、きちんと考え、できることを行っていくことが大事なのだと思います。相手が楽しめること、相手に敬意を払うことなど、とても大切なことを学びました。

普段の生活で作法に沿ってお茶を飲むことはなかなか無いと思いますが、工夫することや相手に気を配ること、気を使って行動することなどは本当に役立つことだと思います。明日からの生活の中で、ぜひ心がけてほしいと思います。様々な学びがある3日間でした。



来週の授業参観は学年懇談会のみとなります

新型コロナ感染拡大に伴うまん延防止措置により、来週の授業参観が中止となりました。生徒が全員帰った後で、学年懇談会のみ行います。感染対策を行い、気を付けておいでください。